

チャドクガ

小嶋祥三

先週、庭のサザンカにチャドクガの幼虫がいるのをみつけた。以前、かれらはツバキにも群がっていた。かれらは毒針毛をもち、触れると赤くはれ上がり、痒くなるので要注意である（時折、大量発生注意報、警報がでたりする）。ウィキペディアから借りた写真を下に示すが、かれらは集団で隊列をなして葉を食う（よく、あんなにかたい葉を食べるな）。今回も同じように並んでいた。身体を大きく見せようとしているのだろうか。天敵はスズメバチだそうだが、こちらウレシくない（スズメバチは、サザンカの隣にあるヒノキの樹皮をかじって、どこにあるか分からない巣との間を往復していた）。チャドクガの幼虫の悪名は轟いているので、一匹でも気持ちが悪いのにも、こう隊列を組まれると恐怖心が起こり、緊張してしまう。今回は、喰われている葉のついた枝を根元の方でそっと静かに切り取り、そのままビニール袋に入れ、殺虫剤を吹き込み、口を縛っておいた（合掌）。わたしは特に痛くなることも、痒くなることもなかったもので、駆除に無事成功したようだ。



ウィキペディアより